

目標達成計画

作成日：平成年 2月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	○運営に関する利用者、家族等の意見の反映 ・ご家族に日々の様子やご本人へのケア・日々の対応の詳細がしっかりと伝わっていない。 ・ご家族の要望に対しどのように対応しているかの回答が伝えられていない	○ご家族様との信頼関係の構築 ・ご利用者様の情報提供とご家族様のご意見の双方で共有出来る体制作り ・頂いたご意見を漏らすことなく返答出来る体制作り	○記録体制の整備及びルール整備 ・日々の細かな情報、それをご家族様に伝えた情報を支援経過記録にする。 ・伝える方法の再考（直接口頭、電話、メール等） ・ご家族様より意見を貰いやすい体制整備 ・今まで以上にご家族様へしっかりとご挨拶しコミュニケーション時間の増加を図る ・職員間の情報共有の強化	3ヶ月
2	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング ・更にご利用者様の情報、ご家族様のご要望そして、ご家族様にそのケアプランを具体的に反映、理解頂く必要がある	利用者さんの正確な情報収集及びその報告体制の実施を行い、介護計画に反映する事	○日々ケアプランを意識する体制構築 →各スタッフへの認知を高める施策 ・申し送り時の活用 ・掲示等 ○ご利用者様の情報記録体制の強化 ○ケアプランの更新期間の短縮	3ヶ月
3	2	○事業所と地域とのつきあい ・現状は運営推進会議にて地域包括支援センター、家族代表、地域の方、民生児童委員、行政が参加しているが、まだまだ地域の方の顔の見える関係性に至っていない。	○運営推進会議参加者の多様化を図る ○地域の方と顔の見える関係性を作る	○町内会・消防隊・ボランティアでかかわっていただく方の機会増設 ・当事業所の催し、イベント等の案内を漏らさず告知 ・地域の行事への積極的参加	6ヶ月
4	13	○職員を育てる取り組み ・さまざまな経歴・経験・力量・年齢等の職員がいる中で、技術や力量、生活感の違いがスタッフの連携に影響し、ケアにも影響を及ぼしている場合がある	○新入社員や、各職員がスキルアップする為の教育プログラムの整備 ○スタッフが仕事に対する達成感や満足感を感じ、やりがいを感じながら笑顔で仕事ができる体制作り	○スキルに合わせた習得業務の整理 ・習得業務の項目整理（レベル） （ケア技術、ご利用者様の状態把握） ・教育実施記録（ロールプレーイング） ○接遇五原則の徹底 ・具体的事例の考察 ○モチベーションアップ施策 ・スマイルカード（褒め褒めシート） ・目標自己評価シート	6ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。